

小渕経産相辞任

政治資金問題で引責

松島法相も辞意

第2次
安倍内閣初

政権運営に打撃



松島 みどり法相

小渕優子経済産業相(40) 衆院群馬5区は20日、政治資金問題の責任を取って辞任した。安倍晋三首相に辞表を提出し、受理された。松島みどり法相(58)



険しい表情で記者会見する小渕氏。20日午前、経産省

衆院東京14区にも選挙区内でうちわを配布し公選法違反の疑いが指摘された問題をめぐり辞任する意向を政権幹部に伝えた。閣僚辞任は第2次安倍内閣で初めて。目玉の女性閣僚として9月の内閣改造で小渕、松島両氏を起用した安倍政権は打撃を受け、政権運営が厳しさを増すのは確実だ。野党側は首相の任命責任を追及する構え。松島氏が辞任すれば、小渕氏とともに在任わずか約1カ月半での交代となる。首相は経産相の臨時代理に高市早苗総務相を充てる方向で調整に入った。

小渕氏の地元群馬県にある政治団体「小渕優子後援会」と「自民党群馬県ふるさと振興支部」は支援者向けに2010年と11年に東京・明治座で観劇会を開催。両団体の会費収入計約742万円に対し、支出が計約3384万円に上ることが政治資金収支報告書から判明していた。差額の約2642万円を政治団体が負担した形になり、有権者への利益供与を禁じた公選法に抵触する恐れが指摘されていた。

松島氏は12、14年にうちわ計2万1980本を製作、選挙区内の祭りなどで配った。民主党議員が公選法違反の疑いで東京地検に告発状を提出していた。

小渕氏は、00年に急死した父親の小渕恵三元首相の地盤を受け継ぎ初当選。改造では2度目の入閣をした。松島氏は衆院当選4回。経済産業副大臣を経て、先の内閣改造で初入閣した。